

15

事例

地元の生産者と連携を取り、特産フルーツを使用したスイーツを商品化。地元で愛されるスイーツを目指す

洋菓子店、地域密着型の商品開発とブランド化による増販増客に挑む！

「菓子工房ファヴァール」は群馬県高崎市片岡町に店を構え、地元客と観光客をターゲットに、「生菓子」や「焼き菓子」を主力商品として製造販売を行っています。

近年は群馬県が商品化を強化している、ゆるキャラグランプリ・ナンバーワンになった「ぐんまちゃん」の商品開発や、高崎市の観光名所でもある「観音山」に関する商品の開発にも取り組むなど、地域に根ざした洋菓子店として地元のリピート客に支持されています。

しかし、競合エリアが拡大し周辺の洋菓子店だけではなく、スイーツの充実に力を入れているコンビニ店や、有名洋菓子店が入っている大手ショッピングモールの出店など、資本力のある企業の進出が大きな脅威となっており、競合店との明確な差別化が提示できず、また季節ごとのキャンペーンもマンネリ化してきました。

そこで、開業10周年を迎える節目に、大手企業との差別化商品の開発とブランド化に取り組み、新規客獲得と店の認知度を上げるための仕組みづくりを行うことになりました。

株式会社群馬マーケティングセンター

ひかり税理士法人

群馬企画塾

取締役 沼澤 啓吾

(群馬県高崎市)